課題申請用 下書き様式

＜一般課題（構造生物学分野）、大学院生提案型課題（構造生物学分野）＞

**4施設（SPring-8/SACLA、J-PARC MLF、「京」/「富岳」を含むHPCI）連携利用の場合は、対象の施設にチェックしてください。**



■■■■■　ページ１：基本情報　■■■■■

０．申請期（選択必須）

|  |
| --- |
| 20xxAまたは20xxBを選択してください。 |

１．実験課題名（入力必須）

　１-1．日本語（最大150文字）

|  |
| --- |
|  |

　１-2．英語（最大70ワード）

|  |
| --- |
|  |

２．審査希望分野（手法）（入力必須）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| [希望審査分野一覧表](https://user.spring8.or.jp/ui/wp-content/uploads/reviews_j.pdf)を参照 | | |
| 大分類（分科）： 「構造生物学」を選択してください | 中分類： | 小分類： |

３．希望ビームライン・装置([装置一覧表](https://user.spring8.or.jp/ui/wp-content/uploads/equipment.pdf))

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | ビームライン※ | 装置 |
| 第1希望  （入力必須） | 「PX-BL」を選択してください。 |  |
| 第2希望 |  |  |
| 第3希望 |  |  |

　　　※どの装置を選択しても、ビームラインは「PX-BL」と表示されます。

４．研究分野分類

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| [研究分野分類表](https://user.spring8.or.jp/ui/wp-content/uploads/research_area_j.pdf)を参照（入力必須） | | 小分類 その他の場合のコメント |
| 大分類：「構造生物学」を選択してください。 | 小分類： |  |

５．サイエンスキーワード（最大50文字）

|  |
| --- |
|  |

６．所要シフト数[１シフト＝８時間]（積算根拠を「実験方法の項目に記述すること」）

|  |
| --- |
| ・ ?? シフト × ?? 回（入力必須）  ・ ?? シフト × ?? 回  ・ ?? シフト × ?? 回  （例：6シフト×１回、3シフト×2回という組み合わせが可能です） |

７．運転モード（詳細は右記リンクをご覧ください：<https://user.spring8.or.jp/?p=15836>）

|  |
| --- |
| 希望なし(いずれのモードでも可)：＿＿  等間隔モード（A or B or Cモード：いずれかのモード指定なし）：＿＿  モード指定必須：＿＿ |

８．運転モード（詳細は右記リンクをご覧ください：<https://user.spring8.or.jp/?p=15836>）

|  |
| --- |
| （モード指定必須選択時）モード希望順位（A, B, C, D, E, F, G, H）※  第1希望：＿＿　第2希望：＿＿　第3希望：＿＿　第4希望：＿＿　第5希望：＿＿　その他：＿＿ |

※ D,EモードはA期のみ、F,GモードはB期のみ運転します。

■■■■■　ページ２：共同実験者　■■■■■

９．共同研究者：ユーザーカード番号、氏名、所属

|  |
| --- |
|  |

注）共同実験者も実験責任者同様、事前にユーザー登録が必要です。Web申請時には、ユーザーカード番号の入力により、氏名/所属が自動入力されます。共同実験者のユーザーカード番号が不明の場合、氏名/所属による検索も可能ですが、共同実験者が氏名/所属によるユーザー情報検索を拒否している場合、実験責任者がユーザーカード番号を検索できません。必要な場合は、共同実験者に、ユーザー登録 > 登録内容確認/変更ページにて設定を変更するよう事前にご連絡ください。なお、課題採択後も共同実験者の変更は可能です。

■■■■■　ページ３：安全に関する記述、対策　■■■■■

１０．安全に関する記述、対策

10-1　安全に関する手続きが必要なもの※1〜5

|  |
| --- |
| （□）該当なし |
| （　）高圧ガス容器持込み実験  （　）放射性同位元素の持込み及び使用  （　）放射性発生装置の新設及び改造、使用目的の変更、性能の変更  （　）国際規制物資（核原料、核燃料物資等）の使用  （　）法規制されている装置等の設置  （　）法規制されている化学物質の使用  （　）特定外来生物の持込み  （　）牛の特定部位の持込み  （　）輸入禁止品（植物防疫法）の持込み  （　）遺伝子組換え実験  （　）ヒト由来材料を用いる実験  （　）高出力レーザ機器の持込み  （　）動物（生きた哺乳類、鳥類、爬虫類）の持込み  （　）特定生物試料（他の生物に感染性を有する生物・物質及びそれに由来するもの）の持込み |

※1：該当する物質および実験は、使用または実施前に手続きが必要なので、来所前に[必要書類](http://user.spring8.or.jp/?p=28858&lang=ja)を提出すること。

※2：｢法規制されている装置等」とは、高圧ガス製造施設、局所排気設備・ガス供給排気設備、クレーン等。

※3：｢法規制されている化学物質｣とは、  
特定物質・第一種指定物質（化学兵器禁止法）、特定毒物（毒劇法）、製造等禁止物質・石綿等（安衛法）、薬事法の指定薬物、麻薬及びその原料、覚せい剤及びその原料、大麻（樹脂）、あへん及びその原料等、向精神薬、指定数量1/5以上の危険物（消防法）。

※4：｢高出力レーザ機器｣とは、JIS C-6820に規定するクラス4、3B及び3Rのレーザ。

※5：｢特定生物試料｣とは、病原微生物（感染性を持つ核酸・プラスミド・プリオン等を含む）、寄生虫並びにこれらの産生する毒性物質、発ガン性物質及びアレルゲン等、生物学的相互作用を通して、人体・家畜・農水産物に危害を及ぼす要因となるもの。

10-2　SPring-8において必要とする施設の装置、器具（最大200文字）

|  |
| --- |
| ビームラインに常設しているレーザ機器を使用する場合(例：BL40XUのYAGレーザ)は、“常設しているレーザを使用”とご記入ください。 |

10-3　測定試料及びその他の物質（入力必須：最低1項目は全ての欄に記入してください。）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 物質名※6 | 形態  (形状)※7 | 量と単位※8 | 危険性  ※9 | 使用目的※10 | 拡散防止及び処理方法 | 安全対策 | リスクレベル※11 | 備考 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |

※6：組成も記入すること。略称不可。

※7：形態とは持ち込む時の状態、形状とは中の物質の状態をいう

（例：キャピラリー(粉末)、ボンベ(ガス)、プレート(結晶)など）。

※8：単位を付けること。

※9：毒物、劇物、有機溶剤、特定化学物質、危険物など。

※10：測定、洗浄、冷媒、麻酔など。

※11：化学物質リスクアセスメント結果を入力。詳細はこちら(<http://user.spring8.or.jp/s/risk-assessment-j>)。アセスメント対象外物質の場合は、プルダウンメニューの「対象外」を入力してください。

10-4　持ち込む装置、器具

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 装置名 | 仕様※12 | 安全対策 |
|  |  |  |

※12：電圧、電流、圧力、温度なども記入すること。

■■■■■　ページ４：提案理由など　■■■■■

１１．提案理由（最大2,500文字）（入力必須）

研究の意義、目的、特色、期待される成果、SPring-8を必要とする理由を必ず含むこと。

|  |
| --- |
| 本提案の概要として、冒頭に350文字以内で、真に実施すべき本質的なテーマへの取り組みである理由など、本提案のアピールポイント等を記入してください。 |

１２．本申請に関わる準備状況、これまでに採択された課題との関係、他に申請課題がある場合は

　　　その課題との関係、同種実験の経験。（最大600文字）

|  |
| --- |
|  |

■■■■■　ページ５：実験方法　■■■■■

１３．実験の方法（レイアウト、測定法、検出器、試料の濃度などを明確にする）（入力必須）（最大3,000文字）

|  |
| --- |
| 技術審査およびレフェリー審査に必要な情報となりますので、CryoTEM利用の場合はCryoTEMを利用予定であることに加え、測定試料となる精製蛋白質もしくは複合体の調製に向けた取り組みと、その結晶解析ないしbioSAXS測定に向けた取り組みの状況を合わせて記載してください。  また、自動測定利用予定であることおよびその実験方法、測定する試料についても明確に記載してください。 |

１４．ビームライン選定の理由（最大300文字）（入力必須）

|  |
| --- |
| 測定を希望するビームライン（複数可）について、希望する理由を記述して下さい。  放射光ビームラインとCryoTEMの両方を利用する研究課題が募集対象となっていますので、CryoTEMのみを希望する申請課題は受け付けておりません。 |

１５．使用するエネルギー（波長）又は特性線 ／希望運転条件（波長、その他）（最大300文字）

|  |
| --- |
|  |

１６．シフト数算出の根拠（最大2,000文字）（入力必須）

|  |
| --- |
| 測定を希望するビームライン（複数可）について、今期及び来期の実験計画と必要と思われるシフト数を参考値として記入し、その算出根拠を記述してください。CryoTEMについても必要に応じて記述してください。 |

■■■■■　ページ６：論文　■■■■■

１７．【学術分野】本研究に関わる実験責任者の主な発表論文（最大3報、そのうちSPring-8で得られた成果に＊印）と、これまでの研究の進捗状況が分かるように、各論文について2行程度の説明を記述。

【産業利用分野】本研究に関わる論文、学会発表、社内報掲載、受賞（社内表彰も含む）、展示会出品、特許出願、広告、新聞発表等があれば記載。各発表物について、本研究との関係がわかるように2行程度の説明を記述。

※記載すべき内容がない場合は「特になし」とご記入ください。（最大2,000文字）

発表論文等①（入力必須）

|  |
| --- |
| SPring-8に登録済みの論文は、「自分が関連する論文リスト」から転記できる機能をご利用ください。  (ORCID iD　およびresearchmapのURLについて)  ORCID iD　およびresearchmapのURLをお持ちの方は、マイページのアカウント情報よりご入力ください。基本情報として申請書に反映されます。 |

発表論文等②

|  |
| --- |
|  |

発表論文等③

|  |
| --- |
|  |

■■■■■　ページ６’：大学院生提案型（大学院生提案型課題のみ記入）　■■■■■

１８．指導教員についての情報

|  |  |
| --- | --- |
| 指導教員のユーザーカード番号 |  |
| 指導教員名 | 自動入力されます |
| 指導教員の所属 | 自動入力されます |

■■■■■　ページ６’’：連携利用プログラム\*　■■■■■

\*該当者のみ

|  |  |
| --- | --- |
|  | （該当するもの全てにチェック） |
| X線自由電子レーザー施設 SACLA | □ |
| 中性子線施設 J-PARC MLF | □ |
| 「京」/「富岳」を含むHPCI | □ |

１９．連携利用施設（複数選択可）

２０．連携利用内容（最大5,000文字）

※SPring-8と、SACLA、J-PARC MLFまたは「京」/「富岳」を含むHPCIを利用すること（連携して実施する研究内容、各施設の利用が必要な理由、連携利用の特徴・利点、連携して利用することにより期待される効果、など）を明記してください。

また、連携利用を行う課題であることを確認するため、SACLA、J-PARC MLFまたは「京」/「富岳」を含むHPCIにおける課題情報（これら施設で実施済課題の場合は、利用施設名、利用時期、課題番号、課題名、課題責任者所属・氏名または研究グループ名など。これら施設の利用を同時期に申請する課題の場合は、施設名、申請期、課題名、課題責任者所属・氏名または研究グループ名など[予定を含む]）を明記してください。

|  |
| --- |
|  |

■■■■■　ページ７：画像ファイル添付　■■■■■

２１．研究の目的、または課題内容の記述の中で使われる図表を３点まで添付できます。

注）アップロード可能なファイル形式は、JPG/JPEG, GIF, PNGで、ファイルサイズ制限は各1MBです。

Fig. 1:

Fig. 2:

Fig. 3: